

【直方支局・直方人権擁護委員協議会】

鞍手町立古月小学校5・6年生を対象に、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手を講師に迎え、人権・スポーツ教室を実施しました。人権教室では、人権擁護委員と選手から、人権とは何かということや、相手を思いやることの大切さについての話がありました。その後、選手と一緒にバスケットボールをしていく中で、チームメイトを思いやり、協力してプレーをすることや、みんなで声掛けをすることが大事だと気付くことができました。児童たちは、互いに助け合い、励まし合いながら楽しそうにプレーをしていました。

